



HSK

うづき  
卯月号

NO.149 2013.4.10号

Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号493号  
 発行/2013年4月10日(毎月10日発行)  
 編集者/我妻 武  
 住所/〒063-0812  
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
 H P <http://npolife.net/>  
 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
 定価/100円



## 北海道社会福祉事業団 福祉村にて 岡林満美氏 講演会

事務局長 岡田 悟

去る3月15日、北海道社会福祉事業団福祉村様に、こころやの岡林満美氏が講師として呼ばれました。始まりは福祉村様からの一本の電話。以前、岡林氏の人生に焦点を当てたライフの第3弾ブックレットが空知版の北海道新聞に載った記事を見てご連絡をいただきました。

福祉村で生活をする皆様に、定期的に行われている自立生活プログラムの一貫として、一人暮らしの楽しさやその当時の想いなどを、当事者の視点からということで、お話をさせていただきました。

ライフでは障害当事者の講師活動はなかなかないことではありましたが、岡林氏の暮らしぶりや思いなどが、福祉村の方々に少しでも良い影響を与えられたらということもあり、快く承諾させていただきました。

当日は、岡林氏の応援団数名と共に福祉村へ向かいました。個人的には何度か伺ったことのある場所ではありましたが、非常にのどかな場所で皆さん落ち着いた生活をされていました。

そんな環境の中、十数名の皆さんの前に立つ岡林氏。はじめは少し緊張した面持ちでしたが、ヘルパーさんと事前に練ったレジュメをもとに、笑いどころを交えながら本人の言葉で話をされていました。幸いお酒好きという共通の話題が和やかな雰囲気してくれました。

そして話は一人暮らしの話題に。皆さんから『夜中に体調が悪くなったら…』『ヘルパーさんが使える時間数は…』『障害の関係でリスクがあるのが不安…』

など非常に現実的な悩みが多く寄せられました。また、岡林氏からは皆さんに向けて『一人暮らしをなぜしたいか?』

という問いが投げかけられた時には『札幌に出て、自分の好きな時間を過ごしたい』

など、皆さんそれぞれの思いを確認されていました。

講演終了後に、岡林氏から

『俺の話はみんなにどれぐらい通じただろうか…』

と聞かれましたが、私にもそれはわかりません。しかし経験したからこそ多くの情報を提供できたこと、また一人暮らしへの不安な思いをやりとりできる場となったことは確かだと思います。

ぜひこれからも一人暮らしへの思いを形にできるよう一步一步進んでいただきたいと思いますし、私たちもそういった思いに応えられるよう頑張っていきたいと思っています。

今回はなかなかない機会をいただき、本当にありがとうございました。



# 今年も エコフィスジャパン株式会社様 より

ありがとうございます



## ご寄付をいただきました

エコフィスジャパン株式会社様は、資源回収を全国各地やアジアの一部で行っている株式会社松本光春商店の系列会社ですが、会社には利益があるときには社会に還元することも大切な役割としてあるそうです。

資源回収という部分では、ライフが札幌市からの受託事業で行っている札幌市リユースプラザや札幌市リサイクルプラザ発寒工房も手がけていますし、いつか一緒にお仕事ができたらいいですねとお話をしていましたが、昨年10月から作業の委託をお受けしており、想像よりは早く実現しました。(アドボケイト2013.3月号で紹介)

いただいたご寄付については大切にに使わせていただきたいと思いますし、今後共お仕事でよろしく願いいたします。

一足先にライフにも春が来たような感じです。本当にありがとうございました。

3月21日、エコフィスジャパン株式会社(札幌)の中村佳史営業部長と木川学営業課長がライフ本部にお越しくださり、ライフの活動に役立ててほしいということで昨年に引き続き50万円のご寄付をいただきました。

当日は法人を代表して我妻と石澤が拝受いたしました。ライフからはお礼を込めて感謝状をお贈りさせていただきました。また、せっかくの機会なので、「こころや」のメンバーも入り、写真撮影となりました。

## 共生社会を支える就労支援セミナー ～農業と障がい者就労の企業的連携を考える～に参加して

きばりや 上神田



3月19日、北海道社会福祉協議会 北海道障がい者就労支援センターの主催で開催された「共生社会を支える就労支援セミナー ～農業と障がい者就労の企業的連携を考える～」ワークショップに参加させていただきました。

北星学園大学社会福祉学部 杉岡研究室の杉岡直人教授がコーディネーターとして、先進的な取組をされているNPO法人、社会福祉法人の理事長、施設長をコメンテーターとして迎え、事業を興そうと思った経緯や思い、事例をあげての現状の事業内容、これからの展望等を話してくださいました。

農作業をすることによって、痴呆症の方の自尊心を回復し、適度に疲れることによって深夜の徘徊癖に良い影響があったという事例報告、やりがいのある仕事や誇りを持って働くということが障害に良い影響を与える…。農業の福祉力「つくること、たべること、その場にいること」が心、気、体に良い効果を発揮するというのは私自身の農業体験からも納得できる事例でした。

高齢化、過疎化による農業の衰退という問題に

障害者雇用を結びつけるといったような、地域のピンチをチャンスと捉え、双方にとってメリットになるWin-Winの関係を構築することで地域の住民からの理解を得て受け入れてもらいやすい形になると思いました。

北海道は障害者の一般企業雇用率が2%にも満たないそうで、施設外就労として、健常者職員も一緒に行き働く形でならば企業も受け入れやすいのかもしれませんが、それでも受け皿としては不十分なので、社会的事業所(ソーシャルファーム)の必要性を改めて感じる事ができました。

その社会的事業所を存続させるには、より多くの人と雇用契約を結ぶには、当然事業として成り立つ形にしないと難しいと感じます。

正直、私には難しい話で、どこから手をつけていいのやら、自分に何ができるのだろうと頭から煙が出ましたが、できるところは精一杯頑張り、できないところは仲間と補いあいながら、お互い様の関係を築いて乗り越えていけたらと思います。



# 地下歩行空間 3.11

## 復興支援バザー

「東日本大震災の記憶の風化防止と支援継続の呼びかけ」を目的として行われたイベントで、震災発生後2年が経過するのに合わせて行われました。主催は札幌市。協力団体として、われらがライフとEn project Japanが参加しました。

今回は3月11～13日の3日間10:00～18:00の間、チカホこと札幌駅前地下歩行空間の憩いの空間で、市民活動団体の被災者支援活動に助成する「札幌市被災者支援活動基金」に募金を呼びかけ、市内の団体が取り組む支援活動をパネルで紹介、被災地域の作業所等で作られた製品を販売し利益分をさらに基金に寄与するという活動でした。

また、その中で去年も販売したガレキを活用した、産業・雇用復興の取り組みから生まれた「瓦Re:キーホルダー」、今年から加わった「瓦Re:きつとフォト」（木製のフォトフレームに瓦礫を購入者が自分でボン



で接着してオリジナルフォトフレームを組み立てる商品）も販売しました。

初日はフォトフレーム誕生の背景について学びながら楽しくフォトフレームの組み立てを体験するワークショップも行われ、各回10名ずつ合わせて20名程の方が、陸前高田市で本プロジェクトを進めている中田源さんやボランティアさん達と被災地の話をしながら組み立てを行いました。

改めて被災地や避難生活、震災ボランティアの今を想像していただきたいという願いを込めたイベントです。

### ☆ 復興支援バザーに参加して

たねや所長 村上 千春

震災から2年経過しました。私には福島県で高齢者介護の仕事をしている友人がいますが、今も変わらず元気に生活しています。

震災当時は、無事でいるという知らせにほっとし、また、どんな言葉をかければいいのかわからなかったという記憶があります（介護という仕事の大変さを考えた日々でした）

バザーでは募金して下さる人や、東北の商品を買うことで支援になればとの気持ちで購入して下さる方が大勢いました。『頑張ってください』との言葉が東北の方々へ届いてくれるといいなと感じました。

ですが、報道では基金額や支援活動団体数の減少が取り上げられています。ライフとして、ねやとして、共に働く仲間の活動や作っている商品を世の中へ伝えていくことが必要ではないでしょうか。

何年経っても、遠く離れていても、支え合って生きていくということを忘れずに！



### ☆ 3.11復興支援バザーを終えて

たねや 奥井 忠宏

昨年同様に東北で作られた商品のみを地下歩行空間で販売させていただきました。

今回は販売員をライフの全事業所から募集して、10名程の参加があり、にぎやかに販売をすることができました。

普段、別の事業所の人と販売する機会はあまりないので、たねやの販売方法を少しずつ本人のペースに合わせて伝え、みんなで連携をとって販売してくれました。

一般のお客様に笑顔を作ろうと頑張ったり、なるべく声を届けようと頑張ったり、昼休みに回転ずしを食べたり、ほとんどやったことのない袋詰めを頑張ったりと、参加した人はそれぞれに仕事の大変さや心地よい疲労感を楽しんで経験できたように思います。

少しでも多くの利益が形を変えて現地に届いて、少しずつでも変わっていきますようにと願う販売でしたが、東北の復興を願う人達に触れられ良い経験になりましたし、寄付金の量も合わせて十分な成果があつて大成功したと思います。

来年も同じ機会があれば、ぜひみんなと参加したいと思えるような復興支援バザーでした。

**札幌市リユースプラザ**

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**

〒063-0835 札幌市西区発寒15条14丁目2-30

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

<http://www.reuseplaza.jp/>**リユースプラザ冬祭りに参加して****発寒工房 大井 敏彦**

2月23日(土)にリユースプラザ冬祭りがあり、発寒工房から私と枇杷木さん齊藤さんの3人が参加したが、その日は天気も良く事故もなかったのが良かった。

イベントは風上げ、アイスクリーム作り、豚丼など。中で出店もあったが、特に大きなトラブルはなかった。

私の担当は、主に資源ゴミの手伝いであった



が、以前よりは良くなったが、まだまだペットボトルなど正しくゴミを出してくれてない人が、一部ではあるが、いた

のが少し残念であった。これからもそういう人がいなくなるように頑張りたいと思う。

**発寒工房 齊藤 悦久**

天気が荒々しい日が続いていましたが、「晴れ男か晴れ女がいるのか？」というくらい今回のイベントは晴れました。それもあって親子連れも多数見られましたね。

自分は、風を子供達と作ったり、車が来ないように誘導したりしていました。

子供達が楽しそうに風を作ったり、捨てられたフライパンで音を鳴らしたりDVDを鑑賞している姿が印象的でした。

次回も参加したいと思いました。

**発寒工房 枇杷木 勝文**

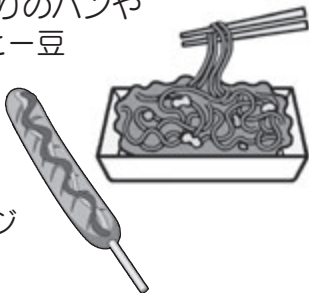
4Rクイズの手伝いとアイスクリームづくりの助手をてつだい、色々なことのでつだいに挑戦した。

**☆リユースプラザからのお知らせ☆****春だ!!桜だ!!リユース祭り****5月11日(土) 午前10時~午後3時****リユースバザール**

リサイクル石けん・手づくりのパンや  
ケーキ・EMぼかし・コーヒード

**ワクワクこども縁日**

まんぷくでみせ市場  
フランクフルトソーセージ  
焼きそばなど

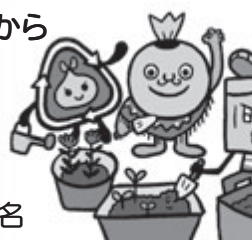
**「生ごみから作られた堆肥」****プレゼント****4月20日(土) 午前10時から**

札幌市リユースプラザ  
厚別区厚別東3条1丁目

**4月21日(日) 午前10時から**

西地区リサイクルセンター  
西区二十四軒4条1丁目  
(JR高架下)

堆肥1袋500g 各日先着200名





# ★卯月4月リユースプラザつれづれ～★

リユースプラザ 西田 大作

こんにちは！ 今回はリユースプラザの最近の家具について皆さんにお知らせさせていただきます。

なんと言っても今、最も目玉な商品は！どこかの社長さんが使っていたと言う噂の「社長宅応接間セット、定価推定80万円!!をセット価格4万円!!」ゴージャスな生活があなたのものになります。

2つ目のお勧め商品！「昔リンカーン大統領の書斎で使われていたと、まことしやかな噂のレトロでおしゃれな机!2,500円!」歴史的な机プライスレスです！



定価推定80万円の社長の応接セット



リンカーン大統領ご愛用?の机

そして最後は！「巨人さんいらっしゃい! 昨年6月から展示され続けていて、展示場主任の澤田さんが早く廃棄にしたい、高さ2m越え巨大な洋ダンス5,000円!」などなどお宝家具が展示中です。皆さん遊びに来てください！

他にも親子木工教室や簡単工作など

色々な教室も開催中です。障害があるなしに関わらず、どんどん皆さんに参加してもらいたいと思っています。教室やイベントの案内は広報さっぽろまたは、リユースプラザのホームページにてご確認して下さい。

ところで、この原稿を書いている最中に「リンカーンの机」が売れてしまいました。午後には社長応接間セットのソファを購入に来館され、なんとゴージャスにも車の天井にくりつけて帰られました。応接セットの一人掛け用2脚とテーブルは19日現在展示中。アドボケを読んで気になった方は、リユースプラザにお問合わせ下さい。なんと言っても、現物1点のみ即売が売りのリユースプラザです。



澤田さんと2mの巨大洋ダンス



車の天井に乗せられた社長の椅子

## 第6回 さっぽろスリムネットワークフォーラム

### 「資源ごみの分け方、出し方、減らし方」に参加して

リユースプラザ 小野 克代

このようなフォーラムに初めて参加させていただきましたが、かなりの席が埋まっており、関心の高さがわかりました。

フォーラムは2部構成になっており、さっぽろスリムネットの活動報告後、1部の講演会が行われました。講師は京都府立大学院 准教授の山川 肇先生。「容器包装ごみ減量と分別について」ということで、「なぜリサイクルが必要なのか?」ということを中心にお話してくださいました。

山川先生は2R (リデュース・リユース) に力を入れておられリサイクルは最終手段とのこと。リサイクルよりもその前の段階で出来ることの必要性をおっしゃっていました。

使用していて便利な物はごみを増やすことにもなります。急な意識改革は難しいと思うのですが日々

の生活の中で

少しずつ取り組み、工夫も心掛けたいです。

2部の座談会では「現場の声に答える—ごみ減量と分別」と題しパネリストの方々にお話をさせていただきました。

普段出しているごみや資源物ですが、決められた袋に決められた物を決められた時に出すのが当然と思っていましたが、それが出来ておらず深刻な問題も出ているとのこと。そしてテーマとはズレますが、と、生ごみの水切りをして欲しいとのお願いもありました。

今回のフォーラムでは身近なことから自分ができることを実践していくことがごみ減量に繋がる大切なことだと改めて感じる事が出来ました。リユースプラザからもお客様にどんどん情報を発信していければと思います。





## 一年目を終えて

富橋 祐太

私がライフに入ってから、もうすぐ1年が経とうとしています。

事業所での毎週の軽作業や、清掃業務や、新しく始まったお米の販売も、とても新鮮な気持ちで取り組むことができました。2年目は軽作業もそうですが、特にお米の精米だけでなく、販売や販促活動にころや全体で関わっていけるように工夫していきたいです。

1年目を無事終えることができたのも、皆様のお力添えのおかげです。これからもよろしく願い致します。



## 「栗沢町福祉村の講演を終えて」

岡林 満美

2月上旬に、ころやで岡田さんに「栗沢の福祉村から講演の依頼が有るけど出るかどうか?」「何それ!オレが講演か?」「新聞(道新の空知版)に載ったからでないの?」と岡田さんがにっこりして言った。面倒臭いのにな...と思いながら「行った方がいいの?」岡田さんがまた、にっこりして「そうだね!」渋々「いいよ!」と。

行きたい人が増え車2台で行きました。石澤さんと笠井さんと岡田さんとあと4人位でした。

福祉村の職員さんが迎えてくれて会議室に入り栗沢の人15人位で講演会を...

ヘルパーの栗田さんが挨拶文(僕がいつも考えている事を書いた物)を読んだ後に質問をしてくれて...

みんな ①お風呂はどんな風に入れてもらっているの?

②食事はどんな物を作ってもらっているの?

③生活費は年金だけですか?等々

素朴な質問をしてきました。

生活費のことなどは笠井さんから詳しく説明してもらいました。



NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

ころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOM0102TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323  
kokoroya@npolife.net

お米精米・販売  
チラシ折り  
封筒詰め作業  
箱折り  
シール貼り  
清掃委託業務



料のことなどの質問に対して色々事業所の仕組みを話してもらいました。

「自立してみたい!」と言った人に「自立したらどんなことをしたいですか?」と聞いてみたら「札幌に行ってまず街の様子を見てみたい!」と。

(他に色々やりたいことが有ると思いますが、まず施設をでて外の様子が知りたいのだろうと思います)

僕も日常のことを話したりして和やかな雰囲気の中、1時間半があっという間に過ぎてしまいました。

最後に自立の三つの条件として

- ①一人で楽しむ時間が持てること
- ②人なつっこさ(自分から人の中に入ろうとする気持ちをもっていること)
- ③お金の管理が出来ること

などを話しました。

今回の企画で、その人達に少しは自立する勇氣と希望を与える事で出来たのではないかと、と思います。



## アウトソーシングセンター 元気ジョブ

札幌市中央区南8条西2丁目5-74  
市民活動プラザ星園103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



### 受発注業務のリスクマネジメント 小形 忠寛

この処やたらに「想定外」というワードが目につく。殆どの場合が「誤算」と用いたほうが適切ではないだろうか。しかし、そのきっかけは当時ライブドアの社長だったホリエモンが「想定外」とは逆の「想定範囲内」といった言葉だと思う。そこには想像力だけでなく、既に対策済みという意図があった。

逆に言う「想定外」には全く思いつかなかったとか想像したけれど対応しなかったと言うことになる。

一般に想定とは、物事を考えるときに様々な条件を加味して線引きをするので、想定は物事を考える人が勝手に決めるから、一線を超えた物事は、起こるときには起こってしまう。また、想定には人間の心理が反映されるから起こってほしくないことは考えないようにする。したがって、想定は往々にして甘くなり、想定外のことが起こり得るという発想もなくなってしまふ。

「想定外」をあまり多用すると、思考力の低下や危機感が欠如していると言わざるを得ないし、「誤算」と言えば、自らの見通しの甘さを認めたことになってしまう。どちらも褒められることはない。

我々の社会には、あらゆる物・状況にリスク（危険性）とリターン（利益）がある。リスクを背負うことで、それなりのリターンを受けることができる。ならば、どのようにすればリスクを減らし、リターンを大きくできるかが重要となる。よって、その意識を持って思考することが、様々な可能性を生み、たとえ間違えても失敗をしても、それが今後の備えになる。これがリスクマネジメントである。

受発注業務においても、どのくらいリターン・リスクがあるのかをきちんと評価することは絶対に欠かせないし、だからといってしないほうがマシだとか、出来ないって簡単にあきらめてはいけないと思う。

### お仕事の中でホッ！

中山 庸子

年度末になり、気ぜわしい毎日。今月は厚別南1丁目めぐみの樹で、国際ソロプチミスト札幌ハーモニー会員の今井徳子さん・杉田知子さんを迎えてイクシア札幌のトーンチャイム演奏会が企画されている。イクシア札幌のトーンチャイム演奏は一年前から試みられているが、去年はコンベンションセンターでの演奏を行い、音響効果が抜群によく永井理事長はじめメンバーさんも大喜びだった。今回のめぐみの樹会場は吹き抜けの喫茶店で生の可愛い音が楽しめると思っている。

昨春、高卒後にイクシア札幌に通所し始めた青年が、最初の頃は私が作業所を訪問すると1番先になって玄関に出てきて名前を聞いてきたのに、1年経つと自分が行っている作業に集中し陶芸作品・木工等、作品を作る事に没頭して自分の役割を果たそうとしている姿に成長を感じた。作品が売れるように協力したいと思っている。

ハンドベルは教会その他・テレビで演奏を見ることがあるが、トーンチャイムはあまり知られていなく、私が初めて聴いたのも一昨年のミニ大通お散歩まつりの時、大通高校での演奏だった。トーンチャイムの音の優しさ・耳にしたときの心地よさを皆さんにもっと知ってもらいたいと思っている。

トーンチャイムの演奏は、メンバーさんが1個～2個の音を受け持ち、自分の持っている音を責任を持って鳴らすことでメロデーを奏で、全員が真剣に演奏しないと綺麗なメロデーにならないところに、イクシア理事長永井氏の全員の心を一つにして奏でるというこだわりがある。

通所して1年の青年は半年で、自分のパートを職員がついていなくても奏でることができるようになった。1週間に1日を音楽療法にして、日々精進している姿は見ても美しい。今後もっと大きなイベントで活躍してもらいたい。音楽療法の時に訪問すると私が癒されている!! ありがとう!





NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
**共働サービス たねや**  
 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32  
 テラ二十四軒1階  
 TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
 taneya@npolife.net

- ・出張販売
- ・配送業務
- ・チラシ折り
- ・封筒詰め作業
- ・箱折り・シール貼り
- ・清掃委託業務
- ・その他委託業務

## 『地下歩行空間での販売』

奥井 忠宏

3月のたねやは普段の出張販売とは別に、地下歩行空間での販売機会に恵まれ、13・14・17日と「お買い物deまちづくり」プロジェクトで3日間の販売ができました。

1日に何万人と通るこの場所は、普段の出張販売とは全く異なり「一般の人で、障害に関して興味・関心の無い人」がお客様としてたくさん来店され、とても貴重な販売・経験の機会になります。

今まで参加したくても人数不足のため参加できませんでした。別の出張販売に行っていた人たちが立候補してくれ、初めて参加することができました。

人が多く、初めての場所という以外はいつもの販売と何も変わらないとわかっていても、難しいところがあるようで、それぞれに苦戦したり、頑張ったり

してくれました。過去最高額とはなりませんでした。まずまずの売上で良かったです。

この販売の経験をすぐに日常に活かす人、すぐに忘れてしまう人、ずっと後になって突然思い出してできるようになる人、それぞれ個性はありますが、店員スキルの向上に繋がってくれればと思います。

何にせよ、目の前で一緒に働く人が成長していくのが見られ、とても幸せだなあと感じる今日この頃でございます。

インターネットで「お買い物deまちづくり」で検索してください！さっぽろ「お買い物deまちづくり」プロジェクト2012/Facebookというのがこのプロジェクトのページです！イイネ！もよろしくおねがいします！！



## ☆ たねやイチオシ 今月のオススメ!! ☆



## 創健社 オニオンスープ

国産たまねぎをじっくりロースト  
野菜の旨味がギュッと詰まった

1人前 6g  
115円

創健社のスープを使った超簡単レシピ  
オニオングラタンスープ

- ① フランスパンを斜めに切って軽くトーストしておきます。
- ② 耐熱容器に創健社のオニオンスープの元を入れ、お湯160ccを入れてよくかき混ぜます。
- ③ ②に①を入れ、とろけるチーズを乗せます。お好みで粉チーズもトッピングするとさらにおいしくなります。
- ④ オーブントースターでチーズに焦げ目がつくまで焼きます。
- ⑤ 粉パセリを散らして完成です。



## 『たねやに入って4年目』

南 友康

ぼくはたねやに入ってから4年目になりました。早いものです。

最近はいそがしくて、なかなか休むひまがないです。最近疲れが取れない時もあります。

僕はがんばって仕事しているので、なるべくちゃんと家で休むようにしています。

もし、こまったことがあったり悩みごとがあったらスタッフに相談をしています。



これからがんばりすぎないように自分のペースでがんばりたいとおもいます。

## 『出張販売』

蜂谷 和輝

たねやで出張販売をして、なかなか自分は狭い場所では、ぶつかりやすいので、なるべく広い場所です。でも、せまい出張販売先もあるので、できればいきたいです。

それと、出張販売先をきいたくしたいです。



就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・紙焼き写真のデジタル化  
・ポストイン・DM発送  
・その他の軽作業

# きばりや

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533



## きばりや — こぼれ話〜

門田 輝美

我がきばりやは、所長を始め全員が、ライフの中で一番の働き者の事業所だと自負しております。休憩時間も忘れて無言で作業に集中する姿には驚かせられます。時々脱線することもあります。「お昼だよ〜」「3時だよ〜」「帰りの時間だよ〜」と教えても「きりの良いところまで〜」と言う元気な返事が返ってきます。

そんな中たまに聞こえてくる話声から2つほど。「ね〜あの頃知ってる〜？ええ〜っと、何だっけ？中村あゆみの…ええ〜っと、あ、骨の折れたエンジェル〜」「骨の折れたエンジェルは知らないな。翼の折れたエンジェルなら知ってるけど〜」

またある時は「今日さあポストインの途中で、間違っってピンポン押しちゃったんだ〜」

「え？それでどうしたの？」とビックリしてみんな。「どちら様ですか？って聞かれたから〜、どちらでもありますって言って帰って来た〜!!」

きばりや中、お腹をかかえて大笑い！

そういう時は「すみません、間違えましたって言ってね!!」

いつも笑いと笑顔の絶えないきばりやです。



## 除雪について

織本 亜哉子

今年、雪がたくさん降って、私達、障害者にとっては歩くのが大変なことがあります。

障害者にも歩きやすいように雪の除雪をみんなでやるのは大変です。誰でも歩きやすいように、札幌市で除雪をやってほしいと思っています。

車イスなどでは通りづらいので自分たちで一生懸命除雪をしました。

また、障害の程度に関係なく、冬季には交通費助成をしてくれたら、私達は助かりますのでよろしくお願いします。

## 3月時思い出

濱中 孝仁

はじめる時にみんなが仕事やって、ポストイン足下がギギギで歩くように水がすごいがったです。

スタート2013年の、広い青空がたくさんになるようにいつもおねがいします。いろいろなすべてのおもいでだった。

雪ふる時にこおりがとけて、くるまがあぶないことがくやしかったです。

最後までみんなと一緒にするようにいろいろながんばりました。

## もうすぐ春

カフェ 山本 滋基

今年の冬は、雪が多くて大変でした。

春が来るのが楽しみです。

今年は、風邪をひいてないので この調子でがんばりたいです。

## 〜cafe de キバリヤより〜 今月のおすすめ

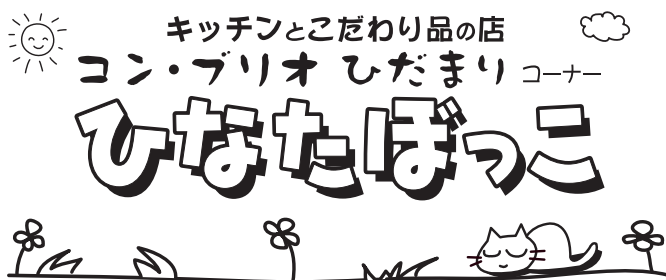
カフェで作る「ママ・マフィン」は開業当時の定番人気商品です。

開業当時の味を守りつつ、新しい味を探求し続けております。



☆ ケーキセット 450円  
(単品200円)

・コーヒーまたは紅茶から選べます。



## コン・ブリオ ひだまり

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階

TEL 615-4131 FAX 615-4132

E-mail: konburio@npolife.net

営業時間: 月~木・土10:30~18:00 金10:30~21:00

休業日: 日曜、祝日、年末年始

### ☆キッチンレシピ!



春到来♪ごはんにもお酒の  
おつまみにもぴったりの春おかず

### \* たたきごぼうの香味煮 \*

#### ☆ 材 料 ☆

ごぼう、にんにく、生姜、長ネギ、  
ごま油、酒、みりん、醤油



- ①ごぼうをすりこぎなどで叩いてから、5cmくらいにカットする。
- ②鍋にごま油を熱してごぼうを転がしながら炒める。
- ③にんにく、長ネギ、生姜のみじん切りを加えてさらに炒める。
- ④ごぼうがひたひたになるくらい水を加え、柔らかくなるまで煮る。
- ⑤酒、みりん、醤油を加え汁気がなくなるまで煮込む。
- ⑥最後に長ねぎの青いところを加える。

### ☆ ひだまりニュース ☆

★先日お弁当で提供した“グリーンカレー”が大変好評だったため、ひだまりのメニューに追加することになりました!

ココナッツミルクたっぷりで

甘みと辛さが絶妙! 石澤専務理事絶賛です!!  
是非ひだまりに食べに来て下さいね!!



サラダ付き  
**650円**

### 地下歩行空間バザーに参加して



藤井 孝雄

早朝から準備をして、売れたのはジャムやレトルトのカレー、ガレキでできたキーホルダーがとぶように売れました。

おきゃくさんから「バザーをやめろ」と言われる場面もありました。



伊藤 美由紀

3月13日(水)地下歩行空間で岡田悟さんと織本さんと南友康さんと児島さんとバザーの仕事をして私は、ふくろにいれるさぎょうをしたり、かみをりの仕事をして楽しかったです。

さいごのあとかたづけに奥井忠宏さんがきてくれてびっくりしました。

さいしゅうびの日ははんぶんも品物がなかったけれども、がれきのキーホルダーとクッキーがうれていました。クッキーさいごの2こ岩崎さんが買ってくれました。

来年もあったら楽しみです。



熊谷 新

3/12の(火)に復興支援バザーに参加しました。普段はひだまりで接客をしています、とてもいい勉強になりました。この機会を生かして接客を頑張ります。ちなみに僕のお母さん、おばちゃんと友達が来てくれてとても嬉しかったです。また来年もぜひ出たいです。(笑)

お食事、お買い物にもいらして下さいね。お待ちしております^o^







ヘルパー派遣業務・在宅介護支援

ヘルパーステーション

ゆい  
繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒 1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

## 「行こうよ、どこでもツアー」

管理者 笠井 衛二

別に深い意味はなく、思いつきを忘れない程度であるが、ヘルパーステーション繭結としてひとつの提案をおこないたい。

それは「行こうよ、どこでもツアー」的な企画を考えてみたい。

札幌はこの20年間で飛躍的に人口が膨張した。北海道の人口に異変がないところを見ると、道内各地から札幌へと移り住んだ人が増えた、ということだろう。

かつて栄光のシンボルであった道内各地の炭鉱や炭山の町は夕張を筆頭に駆け落ちるように衰退がすすんでおり、また漁業の町も鉄の街も以前の面影はない。職場を失った町から若者は離れ、都会を目指し、やがて住み着いた都会で家族を作り父母を呼び寄せる。また多数の病院群に必要を感じる疾患障害者や、障害サービスの多様さを求める人々も札幌に居を定め、総人口190万を構成している。

札幌はよそ者の住み家なのだ。いいかえれば札幌は他に故郷をもつ人々で溢れているといえる。人は都会に傷つき、恐れ、やがて遠い日の青い空を思い出す。

札幌では見えないあの日の青空に身を寄せよう、思い出の地で青い空を探そう！がこの提案を続ける理由だが、諸兄よ、いかがだろうか。

私、笠井は江別の産である。28歳で戸籍を札幌に移した。同級生をさらって札幌に逃げたのは某もじや所長であるが、いまだに故郷の追分町に帰れない。美瑛で生まれたY氏は炭鉱夫の父に連れられ各地の炭山が思い出の地となった。釧路からはK姫、根室のY嬢、小樽はM娘介護士をそれぞれ輩出し、十勝からは理事長、元魚や理事、工房のS君と並び、工房といえばJ主任は隣国の出身だし、空知の炭鉱の町々には、S所長が施設入所まで過ごし、オセロのO名人も22歳まで身を置いている。

まだまだ多彩だ。阿寒の木彫りだったN田氏、

さまよう自由人のM村氏やY氏、そうそう某専務理事も某町の路地裏の出身との噂だ。

このようにライフの仲間も成り上がり札幌人がたくさんいる。いろんな各地で素敵な思い出を積み重ねて、今日がある。その思い出の一ページを訪れて、ホッと溜息をついてみよう。

甘酸っぱい高校の庭先、父を迎える小さな駅舎、屋台に揺れるアセチレンの匂い、披露宴の講堂、妹を送った篝火、雪解けのボタ山、屋根越しの残月、忘れ去られた牛舎の跡、駅前ラーメンの豊潤、酒臭い父の吐息、畑仕事が辛かった子供の日、入学式での母の笑顔、映画館での次回予告、線香花火と姉の横顔、なんこ鍋とガタタンの味、スパカツの羨望、雪の残った入学式、セピア色の集合写真、南瓜と芋の弁当、景色の数だけ思い出がある。

ヘルパーステーション繭結では、ご希望の地にみな様をお連れいたします。費用は若干の燃料費と昼食代の実費のみ。車いすや介護が必要な人でもお受けいたします。

まず、雪解け後は「栗の樹ファーム」などを考えています。あの栗山監督が2002年に栗山町に開設した少年野球場。小高い丘の一角に造られた野球場は、少年のロマンを彷彿とさせます。またファイターズの聖地としても、ファンは訪れたいものです。



みなさまの思い出を、ヘルパーステーション繭結がお受けいたします。申し込みはヘルパーステーション繭結のヘルパーまで。

**なんこ鍋**：は、馬の肉や腸を味噌で煮込んだ鍋料理。もつ煮の一種。秋田県が発祥で、北海道空知地方の郷土料理でもある。

**ガタタン（含多湯）**：とは、北海道芦別市の郷土料理。各料理店で提供されているご当地グルメの一つでもあり、多くの具を含みとろみが付けられたスープのことである。



# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

-  印刷・編集・制作・出版・企画
-  テープ起こし
-  名刺、小冊子の版下作成
-  ホームページの作成管理



## 『女性と仕事』

金子 奈保子

女性が長く働ける仕事って何だろうと、たまに考えることがあります。多くの女性は人生の中で結婚・出産を経験する訳ですが、子どもを抱えて働く女性に、日本はとても不親切だと言われていますよね。

私も娘が認可の保育園に入るまで大変でしたし、入ってからも何かと大変でした。認可は低料金だし、保育施設・内容も無認可に比べて充実している分、時間の融通が利きませんよね。無認可はある程度遅くなっても連絡さえすれば事情を解ってくれます。仕事の前に保育園まで子どもを連れて行き、仕事が終われば雑談する暇もなく迎えに行かなければならない…あの頃は本当に朝から晩まで走っていました。

家に帰ってから夜にかけて子どもの熱が上がってくると、看病しながら「38度を超えるなよ」と心の中で念じ、明日保育園に連れて行けない場合のことを考えて、何パターンも対策をシミュレーション。微熱の時はだましだまし保育園に預けて、仕事終わりにタクシーで22時まで診てくれる小児科へ。今考えるとよく動いていたなと。

病児保育もあるけれど利用しづらい制度なので使ったことはなかったですね。そのかわり「さっぽろ子育てサポートセンター」や、名称は忘れてしまいましたがもう一つ、病児預かりをしてもらえるサービスを利用していました。名前を忘れてしまったサービスの方が私にはとても良かったのですが…。もちろん無料ではないので子どもを1日預けるとその日の働き分より足が出てしまいます。それでも簡単に休むより、何としてでも出社することに意味があると思っていました。私は小



さい子どもがいるから…とは言われたくなかったのです。今の自分から見ると、随分肩に力を入れて生活していたなと思います。

子どもが小学生に上がってからは身体も丈夫になって休むことが減多になりました。同時期にもじやで働くようになりましたが、一般の会社より障害者・小さい子どもがいる人にとって本当に働きやすい職場だなと思います。

もう少し早くもじやに来たかったです。けれどそんな環境に慣れて甘えてしまわないようにしたいですね。

## 『またもや引っ越し』

永島 勝章

先日、職場の仲間などいろんな人たちに手伝ってもらいながら、無事引っ越すことが出来ました。一年ちょっと前に引っ越したばかりだろうと言う人もいますが、前回の当たった道営住宅は、高齢者向けの2LDKで、風呂場・玄関・トイレには手すりがついていて使いやすかったのですが、家族5人で住むとなればやはり狭く、引っ越し直後にいつかは住み替えられるだろうという姑息な考え方で申請をしていたら、見事3LDKに住み替えることが出来ました。

引っ越しは、大きな物はライフのみんなに手伝ってもらって運んでもらい、本当に助かりました。福田所長はじめ、ライフのみなさん、お陰さまで、無事引っ越しが終わりました。本当にありがとうございました～！！

玄関・トイレ・風呂場が今までの配置と真逆で使いづらく、慣れるまで少し時間がかかりますが、引っ越せて本当に良かったです。

これから長く住むことを考え、手すりや浴室・玄関は段差解消をするために住宅改修の申請中です。





# ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

## 就労継続支援事業Ⅲ型 たねや

♪♪ たねやで一緒に販売してみませんか!?



たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



※毎日元気に出勤できる方優遇  
♪♪ 問い合わせ:011-613-0611  
担当 村上・奥井



## 就労継続支援事業Ⅲ型 こころや

あなたのところに!! 私のにここに!!  
『こころや』です。

『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。

ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871  
担当 小黒・岡田



就労継続支援事業Ⅲ型

## ひだまり



コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。

現在、メンバー12人とスタッフ3名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒です! みんなが優しく教えてくれます★

一緒に働いてみませんか??!

ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131  
担当 佐藤



私たちと一緒に  
楽しく働きませんか!!



このページは障害者を家族に持つ方たちのコーナーです。毎日の生活で、楽しかったこと、辛かったこと、泣いたこと、笑ったこと。思いおもいのことを語り合ってみませんか。もちろん匿名でもOKです。原稿はきばりや門田迄お願い致します。

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5-101  
TEL011-644-5533 FAX011-613-9323  
E-mail:kadota@npolife.net

## …※……※……※……※ 居 場 所 …※……※……※……※…

札幌市 濱中 厚子さん

35年前の夏の暑い日に息子は誕生しました。ミルクを飲む力もなく、すぐに母親から離され銭函にあった小児センターへ。病院の先生方のお力添えと本人の生きる力で乗り切り、無事退院しました。



体力をつけるため3才より自然豊かな幼稚園へ親子で通い、5才になって障害児を受け入れてくれる幼稚園を捜し入園。

そこでの2年間は本当に息子にとって最初の居場所を見つけたところでした。今でも先生方との交流を続けています。

小学校、中学校と付属ふじのめ学級へ、バスを乗り継ぎ一人通学もできるようになり、ここでの9年間は社会に出る訓練の居場所だったのかもしれない。

高校は、末っ子の甘えん坊だったので家から離そうと思い、雨竜高等養護学校へ。ここでの3年間は初めての寄宿舎生活で本人も力強くなったと思います。帰省も2年生からは一人で帰宅できるようになり自信にもなったのでは。ただ、せっかく覚えた洗濯は今はまったくしなくなりましたが、これは親の責任かも…。高校の3年間もまた社会に溶け込む訓練の居場所だったと思います。

3年生の時の職場実習で札幌に戻り、ダンボール工場に通いました。本人の頑張りとお社の皆様のご理解で卒業後、そのダンボール工場に就職させていただき、休まず会社に通い、社内旅行などの行事にも参加させて頂き、本人も一生懸命、居場所を捜していたとおもいます。残念ながら10年の勤務後、会社が移転することになり始発で家を出ても始業時間に間に合わなくなり、退職しました。

10年間働いていた仕事を辞め休養を、とのん

びりさせていましたが、徐々に太りだし、これではいけないと思いました。高校の時の先生にお願いし、2～3ヶ所見学させて頂きましたが本人は気乗りせず、最後に「ライフ」さんにたどり着き、中に入った時、私はここは息子に合いそうと感じました。案の定、本人もここが良いとすぐに言いました。

あれから、もう5年。前の職場には障害者がいなかったために友達もいず、毎日、朝一番のバスで出かけ夜帰ってくるだけの生活でしたが、今は「ライフ」さんには沢山の仲間の方々がいて、楽しそうです。

朝、出かける時は寝不足の様子でブスとした顔で出かけますが、帰りは地下鉄を降りると「今日の夕食はなーに？」と毎日電話を掛けてきます。その声は朝と、うって変わって明るく弾んでいます。あー今日も一日楽しかったんだなあーと思うと、それだけで親は嬉しくなります。

ここには息子の居場所があると感じます。本人が選んだ居場所です。

言葉が不明瞭で仕事仲間と会話が

通じるか、仕事場からの伝言などが分からず大変なことがあります。この頃は、出かける準備などすべてを子供にまかせて、手を出したい気持ちを押しえて親は傍観しています。

今は、親も一休み、親も今まで頑張ってきたから…。それをさせてくれる子供に感謝です。

これからも、今まで以上に、皆さんと楽しく、時には怒られ衝突しながらも一步一步進んでほしいと思っています。



NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ



# ゆめぴりか

## 地方発送 承ります!!

### 限定30袋

最近、おいしいとTVでも取り上げられている北海道米。

お米マイスターが本年度イチオシの品種と評した最高級米ゆめぴりかを地方発送いたします。

大切な方への贈り物、大切なご家族やご自分へのご褒美に安心安全な北海道米はいかが？

# 9kg 3,980円(税別)

(税込価格 4,179円)

分づき米とは？……

栄養価  
たっぷり!!

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。

白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

精米したて!!……

新鮮!!

ご注文をいただいてから精米し、即日発送いたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。

本田農場生産の……  
低農薬栽培は？

除草剤・イモ子防除剤 各1回のみ散布して栽培しています。

低農薬米?  
安心・安全!!



## 申 込 書

※ ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

|     |     |  |                      |
|-----|-----|--|----------------------|
| 送り主 | 住所  |  |                      |
|     | 氏名  |  |                      |
|     | TEL |  | FAX                  |
| 送り先 | 住所  |  |                      |
|     | 氏名  |  |                      |
|     | TEL |  | のし(要・不要)<br>・要の場合( ) |

| 白米   | 9kg   | 袋×4,179= | 円 | 配送地域別送料                                                                                   |
|------|-------|----------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 分づき米 | 9kg   | 袋×4,179= | 円 | 北海道 420円<br>東北 840円<br>関東・信越 900円<br>東海・北陸 950円<br>関西 1,050円<br>四国・中国 1,260円<br>九州 1,320円 |
| 玄米   | 9.9kg | 袋×4,179= | 円 |                                                                                           |
| 小    | 計     | 袋        | 円 | ※沖縄・離島は別途お問い合わせ下さい                                                                        |

## FAX(011)613-9323

数量に限りがございますのでお早めにお申し込み下さい。

お支払い方法 (番号を○で囲んで下さい)

1. 現金 (代引きはお取り扱いしておりません)
2. 銀行振込

振込先 札幌信用金庫 琴似支店(普)

口座番号 4297231

特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ

こころや 理事 我妻 武

(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

※発送は入金後となります

総合計(品代+送料)

円

..... お買い求め・配送のお申し込みは .....



# こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F

TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323



## ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

**絶賛発売中**

障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で  
自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



**CD 岡林満美  
僕たちの小さい命  
同時発売!!**

NPO ライフブックレット No.3

2012年8月31日発行

『ぼくたちだって人間だ!!』

定価 800円(送料別)

A5 判 134ページ

2012年8月31日発売

『僕たちの小さい命』

定価 300円(送料別)

※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行

『収容施設はもういらないと思うまで』

A5 判 72p 定価 840円(送料別)

## 社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



**危機の時代こそ  
新しい考えを試す好機!  
社会的事業所促進法を!**

**日本発  
共生・共働の  
社会的企業**

定価 2,100円(送料別)

編者 NPO法人共同連

2012年9月10日発行

195×135 240 p

## 震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

**社会的事業所とは何か?**

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行

『誰もが働ける社会を』

A5 判 140 p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F

TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323

mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

# 紙焼き写真からのデジタル化

## きばりやで新しい仕事を始めました～

ここ12～3年はデジカメが主流で、写真もデータで残っていると思いますが、それ以前の写真は残っていますか？  
みなさまの大切な思い出の紙焼き写真や、アルバムをデジタル化しませんか？



**1枚 30円から**

### 写真をデジタル化するとこんなに良いことが…

#### その①

「お子さまの写真」や「幼少時代」、「入学式」、「卒業式」、「成人式」、「結婚式」…など、紙焼き写真やポラロイド写真などアルバムに残された思い出を、色褪せないようずっとキレイに残すことができます。

#### その②

結婚式に流れる「生い立ちムービー」や、退職する方へ贈る「退職記念ムービー」等、過去の紙焼き写真をみんなで眺めることで、眠っていた記憶から新たな感動が生まれる機会も増えています。

#### その③

写真デジタル化をすることで、整理整頓も簡単になり、バックアップとして別の場所に保管することで、災害による消失などに備えることができます。

#### その④

家庭用プリンターで印刷することや、親戚やお友達にメールで送ることもできます。フォトフレームに入れておじいちゃんおばあちゃんにプレゼントも!!

### 料金について

| 基本料金 | + | デジタル化料金 | + | 追加オプション | + | 消費税 | + | 送料 | = | 合計請求額 |
|------|---|---------|---|---------|---|-----|---|----|---|-------|
|------|---|---------|---|---------|---|-----|---|----|---|-------|

基本料金 DPF-HD800 500円(税別)  
(CDもしくはDVDの代金を含みます)

デジタル化料金  
(1)バラ写真…30円  
(2)ポケットアルバム写真…50円  
(3)その他(A4より大きくA3まで)…100円  
※デジタル化料金については予告無しで改定させていただく場合がございます。

オプション  
・写真修正…傷写真修正、赤目修正、背景消し、合成写真など…100円～  
・スライドショー制作…3,000円  
・メディア複製  
(CD、DVD…500円、SDカード…1,500円、USBメモリ…1,500円)  
・デジタルフォトフレーム付納品  
一例として  
ソニー DPF-HD800  
[8.0型 デジタルフォトフレーム・ブラック・ホワイト]…14,780円  
ソニー DPF-D720 WI  
[7.0型 スワロフスキー・エレメント デジタルフォトフレーム ホワイト]…15,600円

▲DPF-D720

送料  
＜お客様から弊社まで＞  
送料はお客様ご負担となります。配送状況の確認できる方法をお勧めします。  
＜弊社からお客様まで＞  
お届け先と荷物のサイズによって異なります。佐川急便にてお届けいたします。  
送料はお客様ご負担となります。

1万円以上お買い上げのお客様は、納品の送料を無料にさせていただきます!

### 写真加工も承ります!!



たとえばこんなことも出来ちゃいます。

ご注文・お問合せは～

**011-644-5533**

共働事業所 きばりや

門田(かどた)まで

〒063 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
0812 TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323  
e-mell:kadota@npolife.net



## 協力ありがとうございます

### 寄付金

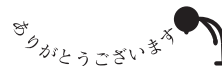
エコフィスジャパン株式会社 様 福田 敏夫 様 高田 保子 様 田原 智文 様  
濱中 邦彦 様 山本 守 様 織本 英子 様 匿名希望 様

### 賛同会費

平川 則夫 様 北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会 様

### アドボケ購読料

高田 保子 様



### 私のオススメ

#### 村上 龍 著「最後の家族」

たねや 田中 伸和



過去にTVドラマにもなったようです。最近と同じ作者の(13才のハローワーク)もドラマになったようです。

この(最後の家族)はサラリーマンの父、専業主婦の母、引きこもりの青年、高校生の妹の4人家族一人一人が自立していく話です。

一人一人の視線から書かれているので大変読みやすいと思います。

この記事を書くために自分でもう一度読んだのですが以前読んだ時とはまた違う印象が残りました。今の自分から見てあらためて色々考えさせられる事が多かったです。

アマゾンで1冊買ったのでもし読んでみたいと思ってくれたら自分に言って下さい。ブックオフには売っていませんでした。

この小説は、救う・救われるという人間関係を疑うところから出発している。誰かを救うことで自分も救われる、というような常識がこの社会に蔓延しているが、その弊害は大きい。

そういった考え方は自立を阻害する場合がある。

村上 龍



発行:幻冬舎  
定価:¥1,575(税込)

#### 『最後の家族』

テレビ朝日系連続ドラマ

10月18日(水)夜9時~

原作・脚本:村上 龍

監督:小田切正明

出演:樋口可南子・赤井英和・吉沢健・松浦亜弥ほか

### ~ライフカンパのお願い~



NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して24周年(法人化して13年)を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

#### 振り込み先

北洋銀行 琴似中央支店 普通預金 4606735

加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

札幌信用金庫 琴似支店 普通預金 3296744

加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

ゆうちょ銀行 振替口座 02710-4-63485

加入者名 NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

### 編集後記

三寒四温とはよく言ったもので、今年の春先を表現するにはぴったりだ。ここ数年、北海道でも異常に夏が蒸し暑く、冬には降雪量も多い。異常気象と言われるが、原因は我々人間。中国からの有害物質も飛んでくる。しかし、一昔前の日本も似たようなものだ。その反省と経験をうまく伝えられないだろうか。まもなく北海道では春。本当に待ち遠しい季節となる。私の近所にある大きな公園では桜が綺麗だが、ジンギスカンの煙も凄い。中国からの有害物質を云々言う前に何とかしないとイケないのではないかな。北海道の花見では定番という人もいるが、もうもうと煙が上がり、焼ける肉の匂いがする公園は興冷めがする。(タケ)

### アドボケイト 卯月号(第149号)

2013年4月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第493号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円